

岩手教区報

第317号
 立教182年5月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3番40号
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



3か月ほど前より、3回目の五十肩(自己診断)に苦しんでいました。前2回は3〜6か月ほどで自然治癒しましたが、今回は肩のみならず左腕も痛み、夜中に何度かその痛みでうめき声を発していました。「五十肩」というのは俗称で、正式には肩関節周囲炎と呼び、40〜60歳代に多くみられる。肩の関節は、骨や軟骨、靭帯、腱などによって構成され、これら組織が老化により炎症を起こし、関節包が狭小化した結果、痛みや動きの制限が生じている状態」とネット情報にありました。ときに日常生活に支障が生じるほどの強い症状が現れる、とも書いていました。が、私はあまりの痛さに骨腫瘍を疑うほどでした。

3月24日、京都に住む3男の伏見区から下京区への引っ越しがあり、往復1時間の道を5回往復して、家財を運びました。昼過ぎから始めて、終わったのは夜8時を回っていました。岩手から京都までの長距離運転後すぐの重労働のせい、その夜の腕の痛みはいつもの比ではなく、あらかじめ用意していた鎮痛剤も全く効かず、痛みで全く眠れませんでした。翌日はおちばで9時から集会の会議があるため、

6時には出発せねばならず、2、3時間でも眠っておいきたいと焦っていました。すると隣に寝ていた息子が、「父さん、おさづけさせてもらおうか?」と言うので、すぐ取り次いでもらおうことにしました。息子の掌は温かく、まさにおちばより教祖がお出張りくだされ、撫でてくださっているように感じられました。そして間もなく、あの強烈な痛みがすっかり消えて、朝までたつぷりの睡眠のお与えを頂きました。そして、5週間が経過した今日まで、ほぼ痛みは出ていません。思えばこれまで、おさづけは取り次ぐ一方で、取り次がれた記憶はほとんどありません。

おさづけは、取り次ぐ側の真実と受ける側の感謝が一つになれば、どんな難病もご守護戴ける、生命の創造主から授けられたたすけ一条の奥技ともお教え頂きます。知恵・学問・科学では説明できない、取り次いだ者、取り次がれた者のみが体感でき、信じる心が作り出す不思議感動の世界です。

今回の出来事で、そうした事実を改めて思案させられ、「感動の回数が減っていますよ」と教祖が背中を押してくださったのだと、気付かせて頂きました。

五十肩(肩関節周囲炎)

主事 櫃 割 孝 美



「笑顔 感謝 陽気づくめ」

いつまでしんぐくしたとてもやうきづくめであるほどに
 (みかぐらうた 五下り目五ッ)

とお諭し頂いているご神言を、日常の生活で実践するとすれば、難儀な日も喜べない日も、どんな日があっても、「有難うございます」という感謝の言葉と、自他共になごやかにする「笑顔」で通る事でしょう。

筆者が、憩の家病院事情部に奉仕をさせて頂いていた頃、いつも「ありがとうございます」と、輝くような笑顔をふりまく婦人講師がいました。この勇んだ声が周囲を明るくさせ、そして、「私は毎日神様に鯛を千匹お供えさせて頂く事になっています」と言われるのです。呆氣にと

られている私に、「鯛は鯛でも『ありがた』という『たい』です」という説明をして下さり、「成程」と納得した事でした。確かに「ありがたい」という言葉と絶えざる笑顔には、陽気づくめの人生を送る大きな「パワー」(力)がありましよう。例えば、子育てでも「笑顔」の多い家庭、「ありがたう」の言葉の交し合う家庭に育てられた子供は、持てる能力をのびのびと高める事ができると共に、人間性の豊かな人格に成長すると言われます。又、笑顔で居れば、がんや病気に対する免疫力も高まる事でしょう。笑顔は又、脳にも良い影響を与え、笑顔の時は脳内ホルヒネ系のホルモンが分泌され、心も体もリラックス状態となり、気分が良くなります。気分が良いから笑顔になる事です。が、逆に、笑顔でいるから気分も良くなるとも言えましよう。又、「ありがたう」を心に念じててもよし、より多く口で唱えてもよし、常に「ありがたうパワー」を高め、陽気づくめに近づきたいものです。この道の信仰は陽気づくめでもあります。陽気づくめとは、人生に何があっても陽気心で通る、心の倒れそうな時も苦しい

悲しい時も、これで結構、有難いと心を澄み切らせて、笑顔で通りたいものです。心さいすきやかすんた事ならば、どんな事でもたのしみばかり
 (おふでさき第十四号五十)

第44回「道の教職者の集い」総会

日時 5月11日 9時30分受付
 総会10時〜14時30分
 場所 岩手教務支庁
 参加費 千円

行事予定

- 【5月分】
- 1日 少年会例会(12時)
 - 2日 主事会(9時)
 - 役員会議(10時)
 - 11日 第44回「道の教職者の集い」総会
婦人会例会(18時)
 - 12日 婦人会後継者勉強会(10時)
女子青年例会(13時)
 - 18日 青年会例会(18時)
 - 22日 学生担当委員会例会(19時)
 - 29日 災救隊東北・北海道ブロック訓練
(〜31日、秋田)

加藤昌弘教区長再任
教区役員、職制一覧

去る3月26日、教区長に加藤昌弘杜陵分教会長が再任。それに伴い、教区の新しい役員、職制が、4月2日に発表された。

- 教区長 加藤昌弘
- 主事 櫃割孝美 鈴木眞彦
- 中田祥浩 高橋邦和
- 佐藤一三 鈴木眞理
- 集会員 櫃割孝美
- 支部長 (九戸) 権谷正一
- (二戸) 堀口教之
- (盛岡) 門間道明
- (三陸) 高橋邦之
- (花巻) 中田祥浩
- (奥州) 崎山道範
- (二関) 鈴木裕一
- (東磐) 千葉道雄
- (気仙) 鈴木道孝

- 会計部長 櫃割孝美
- 教務部長 鈴木眞理
- 次長 崎山道範
- 布教部長 鈴木眞彦
- 次長 門間道明
- 次長 鈴木道孝
- 次長 権谷正一
- 祭事部長 鈴木眞理
- 次長 村松義則
- 厚生部長 佐藤一三(ひのきしんスクール担当)
- 次長 高橋邦之
- 献血推進委員長 門間道明
- 広報部長 崎山道範
- 次長 高橋邦之
- 輸送部長 鈴木裕一
- 次長 堀口教之
- 啓発担当者 千葉道雄
- 道友社代表社友 中田祥浩
- 婦人会主任 加藤早苗
- 青年会委員長 相澤元
- 少年会団長 高橋邦和

- 災救隊隊長 佐藤一三
- 学生担当委員長 権谷正一
- 教職員集代表世話人 門間道明
- 書記 中田祥浩
- 女子青年委員長 門間美穂
- 学生会委員長 高野慎司
- 地方委員
- (九戸) 権谷正一
- (二戸) 堀口教之
- (盛岡) 門間道明
- 関田元之理
- (三陸) 高橋邦之
- 佐野喜与志
- (花巻) 村松義則
- (奥州) 崎山道範
- 及川均
- (二関) 鈴木裕一
- (東磐) 千葉道雄
- (気仙) 鈴木道孝



青年会

「支部リーダーカンファレンス」

実施さる

去る4月13日(土)、教務支庁を会場に「支部リーダーカンファレンス」を実施、支部委員長ら7人が参加した。

13日夕づとめ後、新体制となつて初ねりあいを持たれた。その中で創立百周年記念総会における「今日のこの日はゴールではなくむしろスタートである」との青年会長様のお言葉を受け、今後の充実した活動に向けて活発な意見交換がな



され、移動例会や各支部行事等を通して、会員同士のつながりを強めていく事を確認した。翌14日朝づとめ後、盛岡城跡公園で清掃のきしんを行った。



献血推進委員会

「献血ひのきしん」実施報告



「全教一斉ひのきしんデー」盛岡支部岩手教務支庁会場では、岩手県赤十字血液センターより採血車1台を派遣していただき、恒例の献血ひのきしんを実施した。好天にも恵まれ、事前に会場周辺へのチラシ配りなど盛岡支部の全面協力のもと、9時30分から11時30分まで24名の申し出に対して、22名(400ml 21名、200ml 1名)の献血者を得、目標の20名を久々に上回る結果を残すことができた。

今後とも本教におけるひのきしんのひとつとして、採血協力だけではなく、呼びかけひのきしんにも積極的なご協力をお願いいたします。



婦人会

婦人会後継者勉強会

【5月12日】

教区婦人会は、「婦人会後継者勉強会」を左記の通り実施します。婦人会後継者の方には一人も多く参加頂き、仲間と親睦を深め、みちの дайとして明るく勇んで歩んでまいりましょう。

日時 5月12日(日) 10時〜14時
会場 岩手教務支庁
内容 ビデオ講話(岩井喜市郎・士別分教会長)、フリートーク、物々交換会
参加御供 千円(昼食用意します)

女子青年

グループリーダー親睦会

女子青年大会に向けて
日時 6月2日(日) 10時
※昼食は用意します

